



さるま

1961

町勢要覧



## 町 章

### 町 章 の 由 来

昭和二十八年四月一日町制施行に際し制定，従来の村章を廃す。町民の心を一つに結ぶ円満な理想郷を佐呂間の仮名文字（サロマ）で図案化した。

佐 呂 間 町

# は し が き

1. この要覧は佐呂間町勢の概要を知って頂くために編纂しました。
2. 本書は主として昭和34年度の統計事実により集録したものでありますが調査等の関係上これと異なるものは各項に夫々調査期日を附記してあります。
3. 本書は所管外の事項でも必要と認めたものは集録しました。
4. 本書によって本町の現況を知り且つ産業や文化発展の一助ともなれば幸である。

昭和36年2月15日

佐呂間町長 船 木 長 一 郎

---

## 目 次

第1	総 説	3
第2	人 口	9
第3	町 議 会	12
第4	町 政	14
第5	財 政	16
第6	選 挙	23
第7	教 育 文 化	24
第8	交 通 通 信	27
第9	産 業 経 済	30
第10	保 健 衛 生	36
第11	社 会 福 祉	42
第12	消 防	43
第13	観 光	44
第14	官 公 衛 団 体	49

## 沿革の大要

本町に和人の来住したのは文化五年（約百五十年前）近江の住人藤野喜兵衛松前藩の許可を得てサロマ湖で漁業を営んだのを嚆矢とする。超えて明治二十七年鈴木甚五郎、本町字川口に移住し、爾来和人の来住相継ぎ更に明治三十四年サロマベツ原野の区割割が設定され、漸く農業経営の基礎が確立された。明治三十六年常呂郡常呂村外七ヶ村戸長役場の管轄となり、大正三年常呂村四ヶ村戸長役場より分離し、常呂郡鑑沸戸長役場が設置され、本町自治行政の発足を見たのである。

超えて大正四年北海道二級町村制を実施せられ、同年十一月村名を佐呂間村と改称し、次で昭和十一年名寄線に通ずる西湧網線が開通し、開発は一段と進み、昭和十八年四月北海道一級町村制の実施、昭和二十三年四月一日若佐村を分村、昭和二十五年十一月十五日下湧別と境界変更をなし、下湧別村字床丹部落を本村に編入村民多年の宿望であった町制を昭和二十八年四月一日施行、更に同年十月湧網線の全通を完成し、且又昭和三十一年九月三十日若佐村と合併成り、新生佐呂間町として現在戸数2,901戸、人口14,797人に達し、豊富な天然資源と地味肥沃の耕地、風光豊かにして魚族に富みたるサロマ湖を有する本町の各種産業の発展は日に月に躍進の一途を辿り、前途洋々たるものがある。

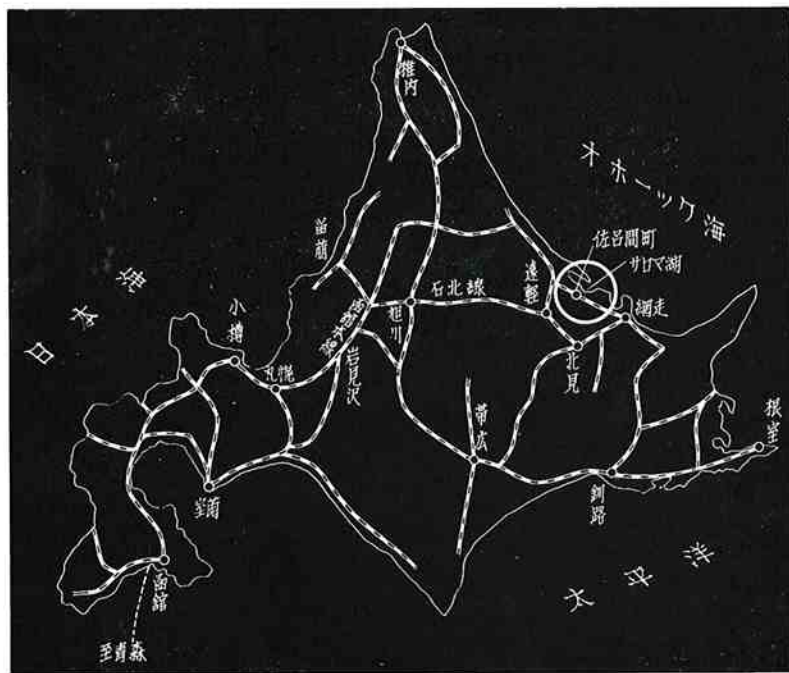
### 町名起源

佐呂間町という名称の起源はアイヌ語「サラオマペット」（茅のある所の川の意）「サラオマ」（茅のある所の沼の意）よりサロマとなまりたるによる。大正四年佐呂間と和文に転用したものである。





# 第 1 総 説



佐呂間町位置図

## 位 置 及 地 勢

本町は網走支庁管内の稍々中央に位し、東径 143度46分、北緯44度1分にあり、東は常呂郡常呂町に、西は常呂郡留辺蘂町、紋別郡生田原町、紋別郡湧別町に、南は北見市に接し、北は一带にサロマ湖に面している。

本町の地勢は南北に狭長であって、数条の丘陵地帯を形成し、天北山系からなる連支脈の山々に囲まれ、地勢は南方に高く北方に傾斜している。

本町の中央を貫流するサロマ別川は留辺蘂峠分水嶺に源を発し、大、小の支流を合しサロマ湖に注ぐ。流域一帯は平坦地をなし、地味肥沃なる農耕地にして水利良く、米、麦、豆、特用作物を産し、畜産も盛んである。又サロマ湖は風光明媚にして、魚族の来遊多く漁業も盛んである。

# 佐呂間町歌

作詞 飯田広太郎

作曲 松田喜一

一、山ふところに

つゝまれて

春は緑の

森深く

秋は穂波に

そよぐ風

希望にあふれ

拓け行く

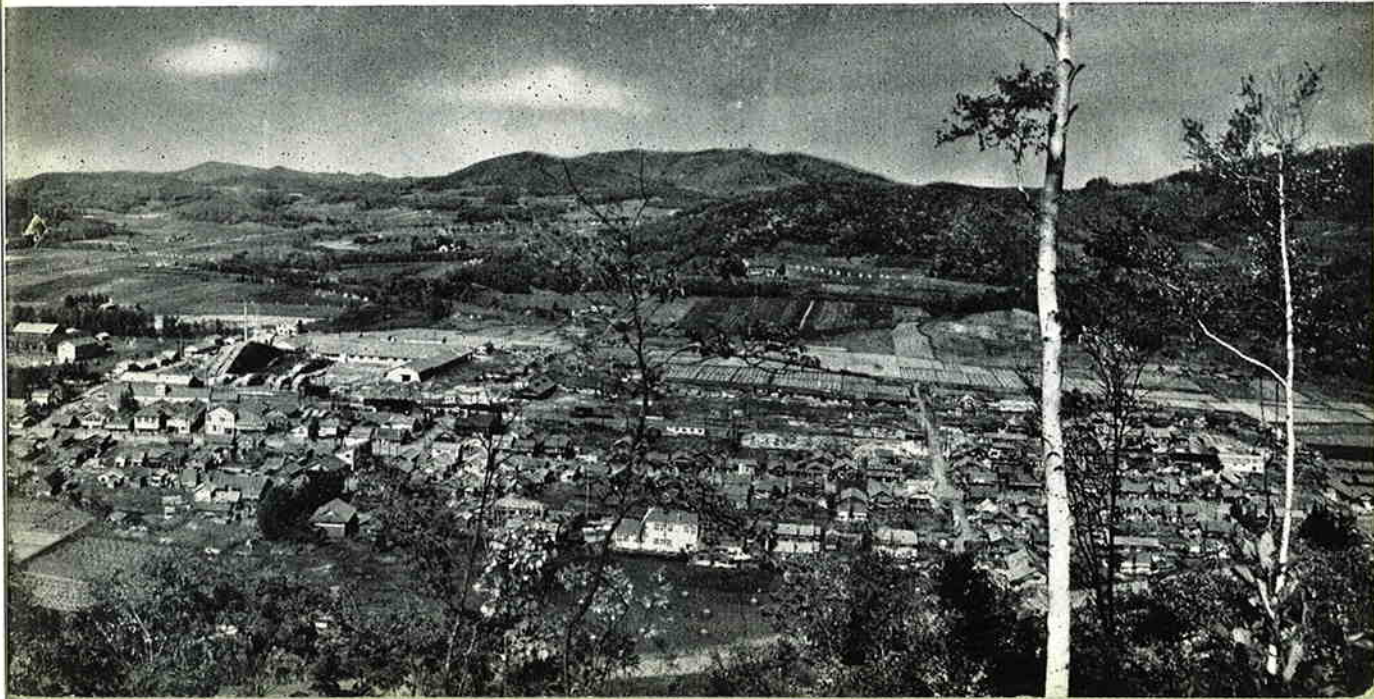
佐呂間く

われらが佐呂間

二、波はるかなる

湖の

佐呂間市街全景



あしたも  
朝燃え立つ

雲の色

ゆうべはかき  
夕帆影に

牙ゆる星

ほほえ  
微笑みかわす

たの  
楽しさは

佐呂間く

たえよ佐呂間

三、せんじんわざ  
先人の業

おほ  
仰ぎつゝ

重き使命を

身にしめて

ほこり  
自治の誇に

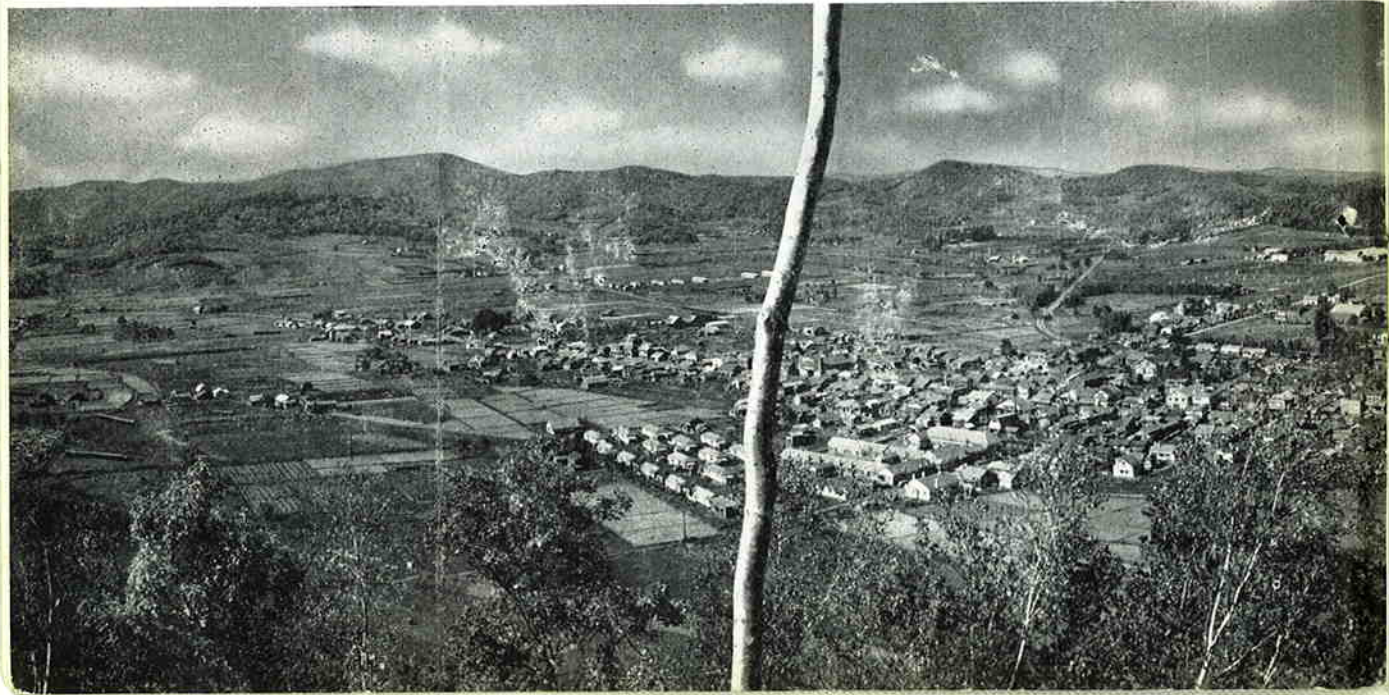
肩を組む

さきほく  
こゝ朔北の

りそりきよう  
理想郷

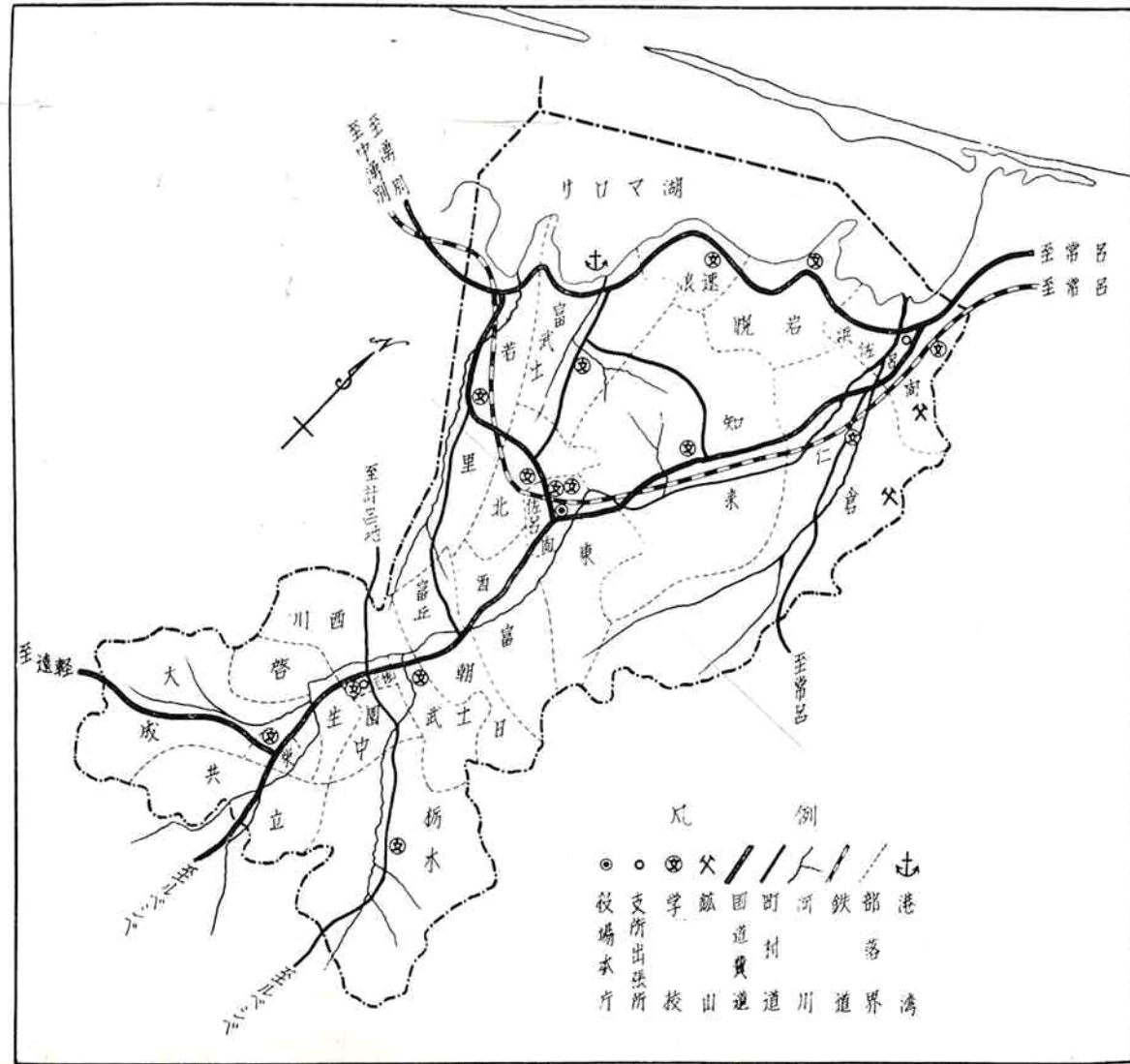
佐呂間く

はえ  
栄ある佐呂間





町 図





1 位 置

東 径 143度46分 北 緯 44度 1分

2 広 袤

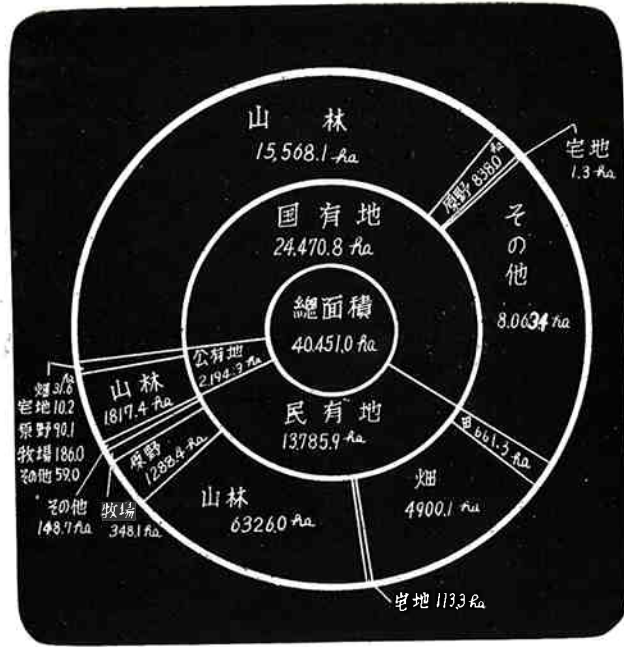
東 西 31.321軒 南 北 18.180軒 面 積 404.51平方軒(内湖水47.86平方軒)

3 標 高

最 高 海拔 515.1米 佐呂間山頂 最 低 水深 19米 佐呂間湖

4 土地種別

区 分	国 有 地	公 有 地	民 有 地	計
	ha	ha	ha	ha
田			661.3	661.3
畑		31.6	4,900.1	4,931.7
宅 地	1.3	10.2	113.3	124.8
山 林	15,568.1	1,817.4	6,326.0	23,711.5
原 野	838.0	90.1	1,288.4	2,216.5
牧 場		186.0	348.1	534.1
そ の 他	8,063.4	59.0	148.7	8,271.1
計	24,470.8	2,194.3	13,785.9	40,451.0



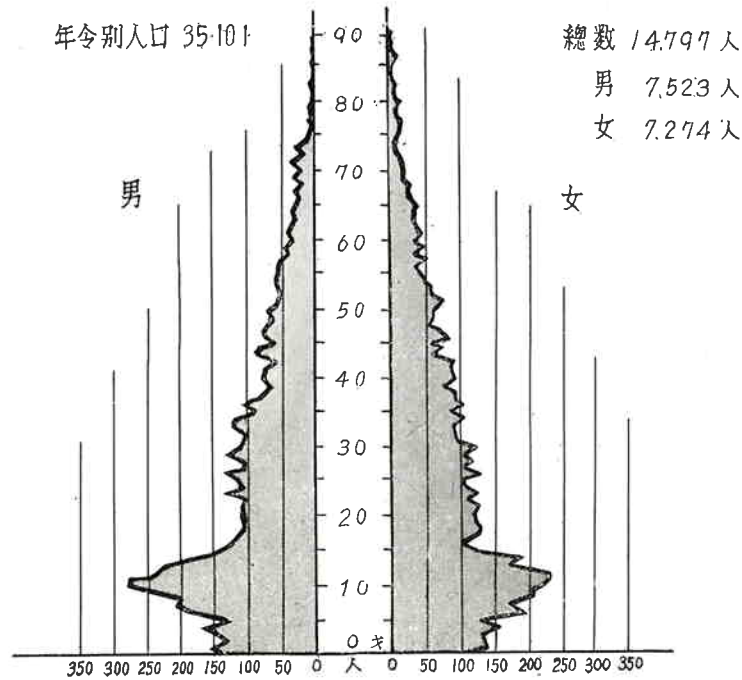
5 気象概況

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		最高気温	5.0	8.0	9.5	27.5	27.5	28.6	32.5	33.5	26.4	28.4	19.0
最低気温	-30.5	-26.7	-21.6	-7.5	-1.6	1.6	8.5	6.5	1.2	-5.7	-18.0	-21.5	
平均	-11.3	-6.1	-0.2	10.5	14.1	17.8	21.1	20.1	17.1	12.7	1.5	-3.5	
天気	晴	14	13	11	13	15	11	12	7	13	18	14	13
曇	10	9	13	16	9	14	11	10	9	9	14	16	
雨	—	—	—	—	7	5	8	14	8	4	—	—	
雪	7	6	7	1	—	—	—	—	—	—	2	2	

# 第 2 人 口

## 1 年 次 別 人 口

年 次	戸 数	人 口			一 平 方 杆 当 り		摘 要
		男	女	計	戸 数	人 口	
昭 和 30 年	2,761	7,918	7,738	15,656	7.7	43.9	国勢調査
昭 和 31 年	2,805	8,404	8,150	16,554	7.9	46.4	住民登録
昭 和 32 年	2,799	8,398	8,126	16,524	7.8	46.3	〃
昭 和 33 年	2,829	8,329	8,074	16,402	7.9	46.0	〃
昭 和 34 年	2,865	8,312	8,096	16,408	8.0	46.0	〃
昭 和 35 年	2,901	7,523	7,274	14,797	8.1	41.5	国勢調査





## 2 人口動態

年次	婚姻	離婚	出生			死亡		
			男	女	計	男	女	計
昭和29年	120	5	188	194	382	54	38	92
昭和30年	106	33	167	155	322	51	43	94
昭和31年	116	3	183	169	352	57	43	101
昭和32年	126	7	158	134	292	50	64	114
昭和33年	133	14	153	142	295	64	42	106
昭和34年	128	6	168	160	328	50	35	85